

情報・システムソサイエティ

英文論文誌のオープンアクセス化について

電子情報通信学会は、来る平成 29 年 5 月 1 日をもって創立 100 周年を迎えます。この 100 年間、電子情報通信分野の学問・技術は大きな変貌をとげました。特にインターネットが誕生してからは、学問・技術のボーダーレス化が急速に進むと共に、学会のグローバル化が必要不可欠なものとなってきました。創立 100 周年を迎える電子情報通信学会では、これまでの領域にとらわれず、広く人文科学、社会科学等とも連携・協働し、新たな社会価値創造の推進、さらには国際的な認知度向上による会員数の増加を目指した大きな制度改革に取り組んでおります。その一環といたしまして、電子情報通信学会では英文論文誌のオープンアクセス化の検討を行っています。オープン化を実施することにより、英文論文誌に採録された論文は、全世界から無料でアクセスすることが可能となります。このことから英文論文誌サーキュレーションの飛躍的な拡大と質的な向上、ひいては人文科学や社会科学等の幅広い分野との連携・協業、そして新たな社会的価値創造へとつながることが期待されます。さらに、国際的認知度の向上によるコミュニティ拡大が、本会活動発展の起爆剤となることを狙っています。このためのステップとして、先行して検討を進めてきた情報・システムソサイエティにおいて 2017 年 1 月から英文論文誌のオープン化*を開始し、財務的な影響を含め有効性を検証してゆくこととします。

*[J-STAGE](#)のプラットフォームを通じてオープンアクセス化いたします。